

IV 研究開発

1. はじめに

当研究センターの2016年度の研究開発について、報告する。研究開発は、光源加速器及びビームライン等の高度化並びに新規実験技術開発等を目的とし、当研究センターの試験研究費及び国の科学研究費等に基づいて実施した。以下に、その概略を述べる。

2. 研究開発の概略

2-1 試験研究費による研究

2016年度実施された研究は、表1のとおりである。

表1 2016年度に実施された研究

課題名	代表者(分担者)
次世代半導体材料の結晶歪み・欠陥構造の研究Ⅲ	石地耕太郎(川戸清爾)
弾性散乱,非弾性散乱がXAFSスペクトルに与える影響Ⅱ	岡島敏浩(河本正秀,瀬戸山寛之)
湾曲結晶チャネリングを利用したビーム操作技術の開発	高林雄一

2-2 科学研究費助成事業による研究

当研究センターは、2006年度から科学研究費補助金取扱規程による学術研究機関の指定を受けており、研究員は科学研究費の応募が可能である。

2016年度に交付決定を受けた研究は、表2のとおりである。また2016年度より前に交付決定を受けた研究は、表3のとおりである。

表2 2016年度に交付決定を受けた研究

期間	種目	課題名	代表者
2016 ～ 2018 年度	基盤研究 (C)	サブ ppm レベル微量元素の化学結合状態を明らかにするXAFS解析手法の開発	岡島敏浩

表3 2016年度より前に交付決定を受けた研究

期間	種目	課題名	代表者
2014 ～ 2016 年度	基盤研究 (C)	3極型超伝導ウィグラーにおける長波長領域放射の研究	江田茂
2014 ～ 2016 年度	基盤研究 (C)	パラメトリックX線を利用した先端加速器用ビームプロファイルモニタの開発	高林雄一
2014 ～ 2016 年度	基盤研究 (C)	光源用電子蓄積リングの高性能化へ向けたスピン偏極効果の探索	金安達夫